

はるかな尾瀬

— 目 次 —

- 02 特集 ～Blue OZE キャンペーン～
- 04 現地情報
 - ①原をわたる風だより
 - ②おこじよだより
- 06 エッセイ尾瀬好日
 - 私と尾瀬ボランティア
- 07 認定ガイドがススめる とっておきの尾瀬
 - ①ゆっくり歩き、からだ全体で花、山、自然を感じる
 - ②幻想的な朝の湿原、動植物でにぎやかな夏を満喫する
- 08 TOPIX
- 09 尾瀬ボランティア情報
- 10 尾瀬保護財団からのお知らせ



2013.7 vol.22
(公財)尾瀬保護財団



皆様は尾瀬にはいつ行かれましたか？

ミスバシヨウの時期、ニッコウキスゲの時期、それとも草紅葉の時期でしょうか。それぞれが尾瀬の代名詞ともいえる魅力的な風景です。

多くの方が、その風景を楽しみに尾瀬を訪れます。今シーズンは鳩待峠から週末に約1万人もの入山があったとも聞いています。そのため、山道も湿原の木道も渋滞しかねず、ゆつくりと尾瀬を散策することが難しいのも現実です。見知らぬ花があつて写真を撮ろうとか、図鑑で調べようとか思つても後ろからはハイカーが歩み寄ってきます。

でも、皆さんのミスバシヨウの時期にはどんな花が見られるでしょうか。シヨウシヨウバカマ、リュウキンカ、ワタスゲ、オオバキスミレ、キウザキイチリンソウ、エンレイソウ…樹木ではオオカメノキ、タムシバ、ムラサキヤシオなど私の乏しい知識ではそのへんですが。

意外と早春のためか、百花繚乱の尾瀬といわれるには少々物足りなさも感じます。では、ニッコウキスゲの時期なら？ 夏休みにも入り、ミスバシヨウに負けないくらい人が尾瀬を訪れる時期でもあります。ただ、昨シーズンはニッコウキスゲのつぼみをシカが食べてしまつたついでに被害もあり、花が少なく、非常に寂しい風景となつてしまいました。でも、皆さんの眼光鋭いまなびしをもつてすれば、随所に数多くの花を見つけられる可能性があります。でもワタスゲやカキツバタは終盤ですし、葉をアヤメに間違えられたキョウチクトウはまだまだおぼろげな時期です。

「おれは、不思議といふおれは旅雑誌にもほつたてつて紹介されていなかつた6月7旬から7月1旬(ニッコウキスゲ時期の前)をせむお勧めしたいと思つてます。」

「梅雨の真ん中……ななな」

OZE 集 パン

体はさほど大きくないのですが、つれいことに周りの草丈がまだ伸びている途中なので、花が草陰に隠れませぬ。梅雨で草もみずみずさを保ち、花を引き立ててくれるでしょう。

最後は、野生ランの大群落を見ることのできることです。でも絶滅が心配されていますが、

尾瀬では、容易に、数多くの種類を見つけることができます。サワラン、ハクサンチドリ、ヒメチドリ、ホンバノキンチドリ、そして下田代のトキソウの大群落。写真に撮るとただの草原にしか見えませんが、近寄るとトキソウだらけ……現地に行かないと決して味わうことのできない衝撃的な光景が広がります。

山小屋も比較的空いているので、宿も取りやすいでしょうし、おそろしく地元にお客さんが少なくなる時期に、皆さんが訪れてくれるのは歓迎したいと思います。当財団では、このすばらしい時期を皆さんにも知ってもらいたいと思ひ、PRを進めようと思つております。

財団の「Blue Oze キャンペーン」

皆さんも、たくしぶりに尾瀬に出かけてみようかと思つたら、いつものミスバシヨウやニッコウキスゲもいいますが、ちょっと今

回は一回休んで、雨具をザックに詰めて、梅雨時の尾瀬にぜひいらしてみたい。あなたの知らない尾瀬が

ぜひ微笑まじく迎えてくれます。



▲尾瀬ヶ原 ワタスゲ

当然の疑問です。でも誰にでもすぐ分かる、見栄えのする大きな花の大群落が出現する時期でもあります。

そう、カキツバタとヒオウギアヤメです。もちろん当たり外れの時期はありますが、目の前の草原が、真っ青に染まるかと思えば、その群落が広がります。

ミスバショウの群生地で非常に有名な下ノ大堀川もこの時期は菅蒲園かと思っ
ほと真っ青に染まっています(ちょっと木道の位置からは離れてしまっていますが、
それと、まっぴんぽんの主役。

ワタスゲです。これも大群落を見ることが出来ます。想像してみてください。みずみずしい草原の中、カキツバタの青とワタスゲの白が混在し、目の前に広がる風景を。
幽玄なすずら覚えるのではないかと思います。

さらに特典が3つもつきます。



▲研究見本園外回りのコバイケイソウ

よつに木道を歩く必要もありません。運がよければ、目の前の木道には誰一人もおらず、尾瀬を貸し切った気分になれるかもしれません。写真の構図も思いのままでしょう(ただし熱中しすぎて、湿原に踏み込むのは御法度です)。

ふたつめ。百花繚乱の名に恥じず、湿地を好む様々な植物にそれも非常に多くの種類を見ることが出来るでしょう。ヒメシヤクナゲ、チングルマ、イワカガミなど高山を彩るメイメイベンターがそれも普通に見ることができると想います。これらの花自

Blue 特 キャン

(おまけ)

○カキツバタとヒオウギアヤメの見分け方

カキツバタは花茎にひとつだけ花がつき、ヒオウギアヤメは複数つきます。また、花被片(大きく垂れ下がった花びら部)ではカキツバタが黄色いくさび型、ヒオウギアヤメは黄色い網目模様があります。花色もカキツバタより薄く感じます。



▲カキツバタ



▲ヒオウギアヤメ

○ワタスゲとサギスゲ

皆さんご存じのワタスゲのぼんぼん(タンポポの綿毛と同じですが)。でもよく見ると先が二股に分かれ綿毛がブラシ状についているものもあります。これはサギスゲ。探してみてくださいね。



▲ワタスゲ



▲サギスゲ

原をわたる風だより

山の鼻ビジターセンターより

今年も始まりました!!

～開所式～

5月13日に山の鼻ビジターセンターでは開所式を迎え、尾瀬国立公園が本格的にシーズンを迎えています。

お天気にも恵まれ、開所式では尾瀬ヶ原にある山小屋のご主人や、ビジターセンターの職員、尾瀬保護財団の職員、この日居合わせた利用者の方など、たくさんの方に参加していただきました。

スライドレクチャーなどのイベントも、和やかな雰囲気で行なわれ、尾瀬ヶ原地区の交流を深める一日となりました。



～今年のミスバシヨウ～



開所を迎え、上山した日の雪の降り積もった尾瀬ヶ原は面影もなく、たくさんの植物達が生き生きとせかせかと

成長を続けています。雪解けが始まり、ミスバシヨウが早々に咲き始め、6月になるとあつという間に見頃を迎えた尾瀬ヶ原。今年は霜にやられ、茶色くなっている個体が多かった印象ですが見事な風景を見せてくれました。私のオスメは東電尾瀬橋。人もまばらでゆつくりとミスバシヨウを楽しめました。隣り合わせに咲いているリュウキンカと相まってこれぞ尾瀬ヶ原の風景!!という程素晴らしいです。

もう一つの、オスメスポットは「研究見本園」。素通りする方、時間が無くてサツと尾瀬を楽しみたい方が訪れる場所、などなど「研究見本園」の楽しみ方は人それぞれですが、実は見本園は植物の宝庫。原の方にある植物が凝縮されています。なぜミスバシヨウのオスメ

スポットなのか。見頃は遅れ気味なので原の方の人の賑わいが過ぎた頃、ゆつくりとミスバシヨウを楽しめる場所だと思っからです。

6月という他にも色々姿を見せてくれています。今、見頃なのはミツガシワ。氷河期からの生き残りと言われているこの花を見ていると、とても神秘的な気持ちになります。他にもチングルマ・ナツトウダイ・ヒメシャクナゲなどありますが、この文章

が発行される頃には、他の植物が主役になっていくんじゃないでしょうか。

きつとニッコウキスゲが主役になっているんじゃないでしょうか。



～尾瀬での感性～

尾瀬に来ると感性が鋭くなる。そう思うのは私だけでしょうか。尾瀬だけでなく、自然に触れることでいつもは見落としてしまうことも気に留めることができるようになる。高層ビル、アスファルトの道路、仕事に追われる自分…。全て

新人職員紹介

忘れることができるからでしょうか。そんなときこそすべての感覚をフルに使うのが私なりの楽しみ方です。目を閉じる。匂いをかぐ。手であらゆるものに触れる(毒があるもの等には注意!)。人のない夕方の尾瀬ヶ原では木道に横たわってみることもあります。そんなふうに楽しんでみると人一倍満喫できた気がして得した気分になります。

(萩原)



渡辺 早紀



櫻井 秀樹



岸畑 亮介



萩原 舞



森山 暢希

現地情報

おごじよだより

尾瀬沼ビジターセンターより

初夏の訪れとともに 思うこと

尾瀬沼ビジターセンターに上山してから、早いもので二ヶ月半が経ちました。尾瀬沼に上山するころ、標高の低いところでは春から初夏にかけてのぽかぽかした気候でしたが、尾瀬に来てみるとまだ雪が残り、辺りを白く染めていました。

後から聞いてみると、ゴールデンウィーク中に二回の降雪があり、メートル近く積もったそうです。

そんな中ではじまった尾瀬での生活ですが、最初は慣れないことが多く、毎日がやっという感じでした。しかし、普段は毎日見られない景色や植物を日々発見する楽しみもありました。すべてが「はじめて」であり、ミスバシヨウから刻々と表情を変化させる湿原、

特に燧ヶ岳から見る尾瀬沼はすばらしい眺望でした。

私たちは以前から自然の中に身を置くことが好きで、「自然の中で働いてみたい」という考えを持っていました。そんなことを感じていた中、尾瀬にいられたことはとても幸運でした。

ほとんど何もわからないところからスタートし、尾瀬沼の情報を自然や動植物を通して、登山者や来所されるお客様に伝えています。時には来所され



るお客さまの質問・要望にお答えできず、自分の未熟さを実感しています。これから更に尾瀬について学んでいく中で、より多くの自然情報や登山状況等を発信していきますので、どうぞよろしく願います。

さて、これを読んでいる皆さまが思う「尾瀬の魅力」とは何でしょうか？尾瀬で出会う人々、植物、動物、景色、空気…。このように、枚挙に暇がありません。

いま、このたよりを書いている自分たちにはまだ分かりません。ビジターセンターにいる間になんとか見つけられるように、日々を過ごしていきたいです。魅力はたくさんあるはず、ひとつではないように思えます。半年後、「尾瀬の魅力」をひとつでも多く見つけ、その魅力を皆さまと共感できたらと思います。

(山崎・川上)

新人職員紹介



高堀 かな



山崎 悠登



目崎 岳郎



川上 藍



阪路 善彦

「私と尾瀬ボランティア」

5月の連休が終わり、吾妻山の雪も解け、福島市の真ん中にある信夫山の若葉が萌え木の香を感じさせる頃。我家の田植の終わりとともに、私の尾瀬ボランティア活動の開始です。

私と尾瀬との出会いは昭和26年。高校に入学した時に生物の先生に尾瀬の話聞き、「いつか行ってみたい」と思うようになったのが始まりです。

初めて入山したのは昭和38年。旧国鉄の尾瀬号が運行開始され、車中一泊山小屋一泊の二泊三日の旅で3回入山。50歳の年には2回入山。その後、仕事で農協婦人部部員健康増進運動として一泊二日で部員引率をして尾瀬沼に入り、その後も何回か入山。

尾瀬ボランティアとしての活動は、平成6年の募集を見て「ゴミ拾い位は出来る」と思い参加したのが最初で、その後はインタープリター養成講座等の講習も受講。平成12年5月には初めて「お話ボランティア」に参加しましたが、その時は私の他に誰もいなく、当時の尾瀬沼ビジターセンター所長の小森さんから現地で大

江湿原・燧ヶ岳・尾瀬沼・大江川の魚類・会津沼田街道・尾瀬塚・ヤナギランの丘・戊辰戦争時の会津藩の砲台の跡・清水俣・実川溶岩流帯・一本のイチイの老木・尾瀬のインゾウ等、尾瀬の自然や歴史伝説等を一日かけて教えていただき、メモを取りながら学びました。昭和36年に開通した長英新道のできる迄の話も教えていただきました。小森さんは当時、尾瀬地区初代管理官として工事に立合っており、長蔵小屋の平野紀子さんからも山小屋の話聞き、勉強しました。

地元でのボランティア活動としては、中学一年生を9年間、事前学習も含めて尾瀬の案内をしました。体育協会も12年間、毎年45名を案内しました。又、檜枝岐村からの依頼で福島市立第一小学校を3年間、こちらも事前学習も行って案内をしました。現在は、地元小学校六年生40名を夏休みに案内しています。

その他にも、警察関係3件、福島市関係2件のボランティア活動しております。

尾瀬ボランティア、故・高木正史さんは、次の様に話をしていました。

- 一、ボランティアは楽しくなければならぬ。
- 一、苦痛が伴ったり、無理は禁物。
- 一、ボランティアは継続してやりたい。

- 一 一回限りや、その場で終わりはない。
- 一、ボランティアは頑張らない。
- 一、肩の力を抜いて、ごく自然体がよい。
- 一、ボランティアはマイペース。
- 一、自分にあつたリズムを作り出す。
- 一、ボランティアは情報に敏感である。
- 一、ボランティアは強制的でない。
- 一、ボランティアは自主的行動、自覚ある取り組み。
- 一、ボランティアは自分を大切にすること。
- 一、元気でなければならない。

そして、高木さんは「尾瀬の良さは、万人が認めることだろう。なぜ、ここでボランティアをやっているのか。解答が『群馬県尾瀬憲章』に要約されていると思われるので読んで下さい。」と、話をしていました。



▲尾瀬を案内する安齋さん(右)

■連載コラム

認定ガイドがススメるとっておきの尾瀬

その23 『ゆっくり歩き、からだ全体で花、山、自然を感じる』

＜宮田一子（尾瀬自然ガイド）＞

（尾瀬ハイキングガイド Tel 0278-58-4824 URL <http://ozehike.com/>）

A1 とにかへくのんびりしてみる。歩くこと、見ること。立ち止まって目をつぶり、深呼吸してから、花、山、自然を感じてみる。きつて見えてくるものが違ってくると思います。鳥の声、風の音、水の音。私達の体にあるすべては感覚にうつたえかけてくる心地よい感じに浸ることをおすすめします。たった1分でも、10分でも1時間でも、ゆっくりと感じた感覚はいつもの生活に戻った後でも目をつぶると体にも残るものです。



A2 見本圖のいちばん奥にあるベンチです。そこに座って食べる食事は、どんなステキなレストランで食べるよりも身体も心もすべて満たしてくれます。自然の中に包まれているように、食べるものが何倍もおいしく感じられます。どんなに混んでいる尾瀬であっても、静かで自然の風を感じられる場所です。

A3 ①保温ポット：食事をすすむ時にあなたがたいこヒーやスーブを飲むことができます。(つかれた体をいやすことができる)②双眼鏡：尾瀬では木道を歩くため、鳥の音がしても近くで聞こえない場所が多く、双眼鏡をもっている、より楽しみが増えると思います。鹿、熊なども。

A4 尾瀬を訪れるお客様(多くの年配の方)を案内した時のことです。みな様見たいものを決めて、その目的地に行き、写真を写し帰って来るという歩き方をしているようにでした。それとも一つの歩き方ですが、すこしもたいたいなと思ひ、尾瀬ヶ原でみな様が見たかった水芭蕉や立金花を見た後で、ゆっくり歩き、鳥の声や小さな花、木はだの香り、風の香りを感しながら登って鳩待峠に着くと、みな様声をそろえて「すこし楽しかった」「またぜひ来たい」と言っていたとき、私まで感動してしまいました。

その24 『幻想的な朝の湿原、動植物でにぎやかな夏を満喫する』

＜斎藤材（尾瀬自然ガイド）＞

（ハッピーアウトドア Tel 0278-64-2151 URL <http://www.happy-snow.com/>）

A1 早朝から歩き始めることで混雑を避けじっくり尾瀬の自然を満喫できます。風景写真を撮ったり、湿原の植物を探したり、自分のペースで楽しめます。もやのかかった幻想的な湿原の朝は、人もまばらで気持ち良いです。そのために尾瀬の山小屋を利用するのもお勧めです。

A2 7月の鳩待峠山ノ鼻竜宮見晴・白砂峠・尾瀬沼・三平峠・大清水の二泊二日のルートをお勧めします。尾瀬ヶ原から尾瀬沼まで尾瀬を満喫するのに最適なルート。見晴や竜宮で宿泊することで行程にも余裕ができ、朝の尾瀬の素晴らしい雰囲気も味わえます。この時期は尾瀬の動植物が一番にぎやかな時期で、目に入る情報量が多いことにも注目です。特にニッコウキスゲの群落は必見。

A3 長い時間木道を歩くと、足、首、腰、膝、踵、足首などに負担がかかります。私も多少慣れてはいるものですが、やはり足が痛い。そんなときにお勧めなのが①かかとサポーター。踵部分の衝撃を和らげる効果があるように、歩き始めに装着しておくと足の疲れがぜんぜん違います。また、②トレッキングポールがある、楽に安全に歩くことが出来ます。二本使用をお勧めしますが、他の歩行者に気をつけ、木道や登山道へのインパクトを考えた石突きを使用したいです。



A4 尾瀬学校でガイドをしているとき、山ノ鼻で別の学校の中学生に声をかけられました。実はその子は小学生のときに私がガイドをした生徒だったのですが、思いがけない再会です。くり。自分のことを憶えていてくれたことにつれしくなりました。前回の尾瀬がとても楽しい小学校時代の思い出になったこと。自然について知らないことがいっぱいあったけど今は野山に行くのが楽しくてしょうがないと語ってくれました。この仕事をしておいて本当に良かったと思える瞬間でした。

A5 このガイドと一緒に歩くことで尾瀬歩きがさらに楽しくなると言われるようにがんばりたいです。参加者への気配りを大切に、安全に配慮したインフォメーション、分かりやすい自然解説を心がけていきます。そのためにも先輩ガイドから学び、お客様から学び、スキルを上げていきたいです。ガイドと一緒に山歩きはこんなに違うという価値感を感じていきます。

[ガイドさんへの質問]

- Q1 尾瀬の楽しみ方 Q2 オススメの尾瀬スポット Q3 尾瀬歩きに便利な道具・装備
Q4 思い出のエピソード Q5 今後の抱負・目標

尾瀬保護財団 平成25年度事業計画

尾瀬保護財団の平成25年度事業計画が、本年3月12日に開催された第40回理事会・評議員会で決定されました。主な事業計画は次のとおりです。

1 利用者啓発事業

(1) 入山者啓発事業

- ① 入山口啓発：主要入山口において入山マナーの啓発、利用案内、ごみの持ち帰り運動等を実施する。
- ② 尾瀬ボランティアの活動支援：ボランティア活動の充実強化のため、活動の調整や研修会等を開催する。
- ③ ガイド利用の普及・促進

ア 尾瀬ガイド協会との連携：ガイド利用による自然体験やエコツアアなどを通じて、尾瀬の自然環境の保全と適正利用を図るため、尾瀬ガイド協会の運営を受託し、連携・支援する。

イ 尾瀬自然解説ガイド：ガイド利用の魅力、有用性等を利用者に啓発し、普及を図るため、尾瀬自然解説ガイド(尾瀬ボランティアを母体とする)によるガイド活動を実施する。

(2) 自然解説事業

- ① 自然解説事業：利用者が尾瀬の貴重な自然について認識を深め、適正利用を促進することを目的として、自然解説事業を行う。

② 環境学習推進事業：「環境学習の場」としての尾瀬の利用促進を図るため、山の鼻ヒジターセンターでミニガイドツアーを実施するほか、現地情報や学校の利用状況について情報発信を行う。

- ③ 尾瀬を知るための現地講座：財団職員により、テーマを決めた体験型の講座を開催する。
- ④ 研修事業

① 指導者の養成：職員の資質向上を図り、指導者として養成するため、各種研修会に派遣する。

② 導入研修：円滑な業務運営を図るため、新規職員を対象に、財団職員としての心構え、業務内容及び国立公園制度等の研修を実施する。

③ 救急救命研修：山岳事故が増える中で、入山者の安全安心を確保するため、現地に勤務する全職員を対象に、応急手当AED操作訓練等の救急救命研修を実施する。

(4) 普及啓発事業

- ① 機関誌の発行：年4回発行
- ② 「わたしの尾瀬」フォトコンテスト、写真展等の開催
- ③ 啓発リーフレット等の作成・配布
- ④ ホームページの管理運営
- ⑤ 尾瀬ガイドダンスの実施
- ⑥ 出張講演の充実

2 環境保全事業

① 植生復元事業：至仏山東面登山道の植生復元及び保全事業を実施する。

② 至仏山保全対策：至仏山保全対策会議を活用し、至仏山保全基本計画に基づいて各種対策を実施する。

3 施設管理事業

- ① ヒジターセンターの管理運営
- ② 公衆トイレの維持管理
- ③ プナの森ミュージアムの管理運営

4 調査研究事業

① 適正利用推進事業：「尾瀬ビジョン」の実現に向けて主体的に取り組む。ツキノワグマ対策については、「尾瀬国立公園ツキノワグマ対策協議会」の運営を行うとともに、出没した際の対策について関係者とともに取り組む。

② 尾瀬シカ対策事業：シカによる尾瀬ヶ原の湿原及び尾瀬沼を含めた尾瀬全体の植生の荒廃を防ぐため、関係県と連携してシカ対策に取り組む。

5 顕彰事業

湿原に関する学術研究を奨励し、優れた業績を挙げた者に対して尾瀬賞を授与するため、第17回尾瀬賞の論文を募集する。

6 友の会等事業

① 友の会事業：財団活動に対する支援を幅広く求めるため、会員を募集し、増加に努める。

② 寄付金の募集：財団事業の充実と財政基盤の強化を図るとともに、尾瀬に対する幅広い支援を求めると、公益財団法人への寄付税制の優遇措置制度を活用し、企業・団体等に対し積極的に寄付を募る。

7 その他

- ① 尾瀬サミット2013の開催
開催日：9月22日(月)～3日(火)
開催場所：魚沼市「奥只見緑の学園」
- ② 拡張地域における活動拠点の整備：昨年度に引き続き檜枝岐村内に臨時の事務所を設置する。
- ③ 評議員会及び理事会の開催

尾瀬ボランティア情報

このコーナーは尾瀬ボランティアに登録されている方のためのコーナーです。

●お知らせ

今年度から尾瀬ボランティア担当になりました南雲一哉（なぐもかずや）です。ボランティアの皆さんの活動の力になれるように頑張りますので、よろしく願います。

さて、今年度のボランティア活動の日程は、お送りした「平成25年度尾瀬ボランティア活動計画」をご覧ください。

入山口啓発活動やお話ボランティアのほか、各ボランティア活動を実施しておりますので、参加をご希望の方はメール、電話、FAX等でお申し込みください。

活動後は必ず活動報告書を提出してください。（活動報告書の様式はホームページにありますので活用ください）。

今年度も多くの方にご参加いただきたいと思います。よろしく願っています。

●活動情報

○尾瀬巡回清掃

入山者にゴミの持ち帰りを周知する等マナー啓発を行うとともに、清掃活動を行います。

会津駒ヶ岳

・日時／8月24日（土）7時～16時

・予定コース／滝沢登山口↓駒の小屋↓会津駒ヶ岳

↓中門岳↓滝沢登山口（解散）

至仏山

・日時／8月24日（土）8時～15時30分

・予定コース／山の鼻V.C↓至仏山↓小至仏山

↓鳩待峠（解散）

○ありがとうございます尾瀬清掃

尾瀬への感謝の気持ちを込め、清掃活動を行います。

大清水～尾瀬沼

・日時／9月7日（土）8時～12時

・予定コース／大清水↓一ノ瀬↓三平峠

↓尾瀬沼V.C（解散）

御池～赤田代

・日時／9月7日（土）7時～14時

・予定コース／御池↓天神田代↓三条ノ滝

↓赤田代（解散）

尾瀬ヶ原

・日時／10月19日（土）8時30分～15時

・予定コース／「健脚コース」と「ゆつくりコース」

を設定します。

尾瀬沼

・日時／10月19日（土）8時30分～12時

・予定コース／尾瀬沼V.C↓浅湖湿原↓沼尻↓

南岸經由三平下↓尾瀬沼V.C（解散）

○至仏山東面登山道整備

柵倒し、ロープ外し作業

・日時／10月27日（日）8時～15時

・予定コース／山の鼻V.C↓高天ヶ原↓至仏山頂↓

オヤマ沢田代↓鳩待峠（解散）

○至仏山植生復元作業

・日時／9月中旬～10月上旬

※スケジュールは変更になる場合があります





寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行ない、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

◆個人住民税の寄付金控除の対象に尾瀬保護財団が指定されました。

個人住民税の寄付金税制の拡充により、各都道府県・市区町村が条例で指定した法人に対する寄付が、住民税の控除対象となるようになりました。尾瀬保護財団は下記の県・市・町から指定を受けています。(財団への寄付を行った翌年1月1日にこれらの県・市・町にお住まいの個人が対象となります。)

福島県、群馬県にお住まいの寄付者：個人県民税

福島県富岡町、群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県桐生市にお住まいの方：個人県民税と個人市民税・町民税

◆また、尾瀬保護財団は「公益財団法人」に認定されており、当財団への寄付は所得税・法人税の優遇措置を受けることができます。

※なお、所得税、住民税控除の対象となる方には、領収書の送付時にご案内資料等をお送りします。

◆企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、下記の制度があります。

| 種類 | 条件 | 特典 |
|--------|---|--|
| 特別協賛寄付 | 3年に渡る毎年30万円以上の寄付、または一時の100万円以上の寄付 | ①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称、ロゴマーク、メッセージを1年間掲載 ②尾瀬国立公園ロゴマークの取扱要領に基づき使用申請ができ、許可後は無償で1年間使用 ③翌年度に作成する「尾瀬ハイキングガイド」に企業等名称、ロゴマーク、メッセージを掲載 |
| 協賛寄付 | 3年に渡る毎年10万円以上30万円未満の寄付、または一時の30万円以上100万円未満の寄付 | ①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称を1年間掲載 ②翌年度に作成する「尾瀬ハイキングガイド」に企業等名称を掲載 |

■寄付につきましては、財団事務局（群馬県庁 17 階・027-220-4431）にご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

| | | | |
|-----|-----------|----|---------|
| 福島県 | 東邦銀行県庁支店 | 普通 | 1078095 |
| | 福島銀行本店営業部 | 普通 | 0590088 |
| | 大東銀行福島支店 | 普通 | 1287138 |
| 群馬県 | 群馬銀行県庁支店 | 普通 | 0515428 |
| | 東和銀行本店営業部 | 普通 | 0975531 |

| | | | |
|-----|----------|----|---------|
| 新潟県 | 第四銀行県庁支店 | 普通 | 1182791 |
| | 北越銀行県庁支店 | 普通 | 0199366 |
| | 大光銀行新潟支店 | 普通 | 0837334 |

特別協賛寄付者のご紹介

※寄付日付順、敬称略

尾瀬紀行

尾瀬紀行（信託ファンド）で収受した信託報酬の一部として総額 503 万円余りをご寄付いただきました。平成 19 年より今回が 7 回目のご寄付となります。(通算寄付総額 45,189,933 円)



2013年7月10日寄付

DIAMアセットマネジメント株式会社 今年度は251万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 22,594,967円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。DIAMはこれからも金融の仕組みを通じて、社会に貢献する資産運用会社を目指します。



第四銀行

2013年7月10日寄付

株式会社第四銀行 今年度は45万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 5,013,756円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が無効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



新潟証券株式会社

2013年7月10日寄付

新潟証券株式会社 今年度は6万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 1,542,229円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が無効に活用されることを期待しております。新潟証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。

2013年6月20日寄付

株式会社群馬銀行 今年度は92万円余りをご寄付いただきました。(財団設立当初からの寄付を含め、通算寄付総額 26,115,677円)

寄付者からのメッセージ：信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させて頂きました。趣旨にご賛同頂き投資信託をご購入頂いた全てのお客さまに深く感謝いたします。

2013年6月10日寄付

株式会社東邦銀行 今年度は106万円余りをご寄付いただきました。(通算寄付総額 8,025,704円)

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であり、今後とも積極的にCSR(企業の社会的責任)を重視して取り組んで参ります。

2013年2月8日寄付

公益財団法人コメリ緑育成財団 コメリ緑育成財団様より50万円のご寄付をいただきました。

コメリ緑育成財団様からのご寄付は、前身のコメリ緑資金の会様からのご寄付と合わせて、今回で4回目のご寄付になります。今回を含め、今後新たに3年間に渡りご寄付をいただくこととなっています。(通算寄付総額 2,000,000円)

寄付者からのメッセージ：当財団は、(株)コメリの利益の1%還元事業として1990年に設立した「コメリ緑資金」による緑豊かなふるさとづくりへの助成事業を引き継ぎ、2012年に公益財団として新たにスタートしました。私たちの住むふるさとが花や緑にあふれ平和で豊かであってほしいと願い、豊かな自然環境づくりや園芸農業分野における技術開発などへの助成を行っています。未来の子どもたちのために、尾瀬の美しい自然と豊かな生態系がいつまでも引き継がれていくことを願っています。

2012年12月25日寄付

アサヒビール(株)群馬支社 47都道府県において、アサヒスーパードライ缶、ビン及びスーパードライ ドライブラック缶1本あたり1円を各都道府県の売上に応じて、環境関連等の団体に寄付するもので、平成24年秋の第6弾キャンペーンにより239万円余のご寄付をいただきました。

(通算寄付総額 23,079,617円)

寄付者からのメッセージ：アサヒビール(株)群馬支社では、地域との共生や地域貢献を目標に掲げ、2009年春より、アサヒスーパードライ「うまい！を明日へ！プロジェクト“尾瀬の環境保全活動”」をスタート。売上の一部を尾瀬保護財団へ寄付させていただいています。より多くの県民の皆様にご賛同いただき、また、賛同いただくことで、県民の皆様とともに群馬県の環境保全を進めていきたいと考えています。群馬県の子供たちの未来のために、お役立ていただけたら幸いです。

協賛寄付者のご紹介

※寄付日付順、敬称略

**一般財団法人
群馬県警察厚生会**
2013年6月20日寄付

当財団の設立の趣旨と活動内容に賛同していただき、尾瀬の美しい自然が後世の人々に引き継がれるよう活動に役立てて欲しいと、ご寄付をいただきました。平成23年度から毎年ご寄付をいただき、今回で3回目となります。(通算寄付総額 300,000円)

株式会社フレッセイ
2012年7月10日寄付

フレッセイとキリンビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売されたキリンビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円(両社で0.25円ずつ負担)をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。(通算寄付総額 1,363,245円)

**キリンビバレッジ
株式会社**
2012年7月10日寄付

フレッセイとキリンビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売されたキリンビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円(両社で0.25円ずつ負担)をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。(通算寄付総額 1,156,508円)

アサヒビール株式会社
2012年7月5日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、31万円余りをご寄付いただきました。これは、平成23年12月から平成24年3月までに利根郡内で販売された「アサヒスーパードライ」缶・びん1本につき1円をご寄付いただいたものです。(通算寄付総額 23,079,617円)

その他の寄付者のご紹介

※五十音順、敬称略

緑川直俊

イベント情報

第17回NHK「わたしの尾瀬」写真展

【南相馬展】

- 開催期間 平成25年7月30日(火)～8月21日(水)
午前10時～午後5時
- 会場 野馬追通り銘醸館 二番蔵ギャラリー
(福島県南相馬市原町区本町2-52)

【胎内展】

- 開催期間 平成25年8月24日(土)～9月1日(日)
午前9時～午後6時
- 会場 胎内市産業文化会館
(新潟県胎内市新和町2-5)

【中之口展】

- 開催期間 平成25年9月7日(土)～16日(月)
午前9時～午後4時30分(但し、9月9日(月)は休館日)
- 会場 中之口先人館ギャラリー
(新潟県新潟市西蒲区中之口363)

編集後記

6月22日(土)に尾瀬ボランティアの皆さんと至仏山東面登山道の柵立て作業に行ってきました。当日は予想以上の悪天候となり厳しい状況での作業となりましたが、皆さんに助けをいただきながら、無事に下山することができました。自分にとって初めての至仏山でしたが、山の厳しさを身をもって知るとともに、自分自身の運動不足を再認識することとなりました。(南)

ノアザミ (花期 7月-8月)

キク科植物は複数の小さい花を束ね、緑の総苞で取り巻いた花束をつくっていて、それは頭花と呼ばれる。

アザミ類の若い頭花には色の濃い雄しべが何本も立っている。そっと触れると10秒ほどの間に、先端から白い花粉が湧き出てくる。これは、昆虫が触れたときに花粉を出して、運ばせようとする仕組みなのだ。だから、触れる力は昆虫の体重の0.3g以下でないと、雄しべは気絶して動かなくなる。何回か試して、花の状態と力加減を覚えてから、お客さんに見せよう。適期は午前中だ。

(フラワーエコロジスト 田中 肇)



『友の会』コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援して下さる方々の集まりです。



| | | | |
|-----|------------------------|----|---------|
| 年会費 | ○個人会員 | 1口 | 2,000円 |
| | ○ユース会員 (3月31日現在満22歳以下) | 1口 | 1,500円 |
| | ○家族会員 (個人会員と同居の家族) | 1口 | 1,500円 |
| | ○賛助会員 (団体・法人) | 1口 | 10,000円 |

★特典について

友の会に加入された方に次の特典をご提供させていただいております。

初回加入時：友の会会員バッチ進呈、各種資料送付

財団機関誌：年4回配布

宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引

(休日、祝祭日前等の除外日があります)

尾瀬周辺施設利用料割引等：対象施設等の詳細は、

尾瀬保護財団ホームページでご確認ください。



oze mobile
携帯サイト

お知らせ
緊急情報
ライブ映像
など
情報配信中

尾瀬の質問も
受け付けています
ツイッター
尾瀬情報
配信中

